秋田県立比内支援学校　地域支援部

スマイルサポート

発行
秋田県立比内支援学校
令和８年１０月５日（月）
第３号
文責：三澤言枝、佐藤尊

令和８年度　比内支援学校　地域研修会



8月24日(月)に大館市中央公民館で、令和8年度 比内支援学校 地域研修会を開催しました。県北地区の教職員や支援機関、保護者の方など100名近くの方に御参加いただきました。研修内容や参加者の感想を御紹介します。

「なりたい自分」の実現に向けて、児童生徒のよさや強みをどういかしていくのか
～ウェルビーイングとキャリア発達の視点を踏まえて～



講師：菊地 一文 教授（弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻 教職大学院教授）

① これからの教育で大切にしたいこと

これからの社会では、子どもたちが
「自分の人生を、自分で考え、選び、歩んでいく力」を育てることが大切です。
そのためには、「できないこと」を補うだけではなく、



「好き」を育み、「得意」を伸ばす

という視点が重要になります。
子どもの「やってみたい」「こうなりたい」という思いを出発点に、その子らしい学び方・生き方を一緒に考えていくことが求められます。

② ウェルビーイング × キャリア発達

ウェルビーイングとは？
「身体的・精神的・社会的に良い状態」のこと。
自分らしく生きることだけでなく、
人とのつながりや社会との関わりの中で、
よりよく生きることも含まれます。



キャリア発達とは？
仕事のための力を身に付けることだけではありません。
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程
学校での一つ一つの経験や、人との関わり、成功や失敗も、子どもたちの「これからの自分」をつくる大切な学びになります。

③ 子どもの「したい」を大切にする

「できる」「わかる」ことと、「したい」と思うことは同じではありません。
「したい」という気持ちは、教え込むものではなく、
体験や人との関わり、環境の中から生まれてきます。

教師に求められる関わり

1. 子どもの思いを見つける
2. 「できそう」と思える仕掛けをつくる
3. 子ども自身がやってみる
4. 振り返り、意見を見つける
5. 次の「やってみたい」へつなげる

このサイクルを大切に！

④ 「支援する・される」から「共に創る」へ

地域との活動では、子どもが一方的に「支援してもらう」のではなく、地域の一員として、一緒に価値をつくる「共創」という視点が重要です。

駅舎の清掃



✓「自分にもできる」

地域とのものづくり



✓「誰かの役に立てた」

弁当づくり



✓「もっとやってみたい」

それは、子ども自身のウェルビーイングだけでなく、地域のウェルビーイングにもつながります。



⑤ 教師に求められる「対話」と「見取り」



なぜ、そうしたの？
どんな気持ちだった？
どうしてやってみようと思った？
これから、どうしたい？

と対話することで、子ども自身が経験の意味に気付いていきます。

教師は、子どもの姿をよく見て、小さな変化や思いを「見取る」ことが大切です。
そして、すぐに答えを与えるのではなく、「待つ・委ねる」ことも大切な支援です。

⑥ 明日からの実践につなげる3つの視点

1. **「好き・得意」から子どもを見る**
   できないことだけでなく、「何が好き?」「何が得意?」「何なら夢中になれる?」を探す。
2. **「経験→振り返り→次の一歩」をつくる**
   活動して終わりではなく、
   「何を感じた?」「何ができた?」「次はどうしたい?」を大切にする。
3. **子どもと一緒に「なりたい自分」を考える**
   教師がゴールを決めるのではなく、
   子ども自身が自分の未来を思い描き、
   学ぶ意味を見つけられるようにする。



参加者の声



印象に残っていることは、「大事なこと(学び)は『本人の中』にあり、経験をとおしてアップデートされていく」ということです。生徒理解のための「４つの問い」や、省察の目的、在り方について、とても勉強になりました。先生が繰り返し話されていた「他者からの価値付け」「認め合い」など、日々の中で実践していきたいと思います。



まさにインクルーシブ、通常学級の授業づくりやキャリア教育に通じる、いや、同じであると感じました。「キャリア教育」と「キャリア発達」について明確に理解でき、「ウェルビーイング」の視点についても深く学ぶことができました。また教育とは手間や時間がかかるもの、というお話に心から納得し、やはり特別支援教育について学ぶことは「教育そのもの」について学ぶことであると、改めて思いました。



学校展示







地域研修会の会場では、本校の取組を紹介するパネルや、小学部で実際に使われている教材・教具、中学部・高等部の作業学習製品も展示しました。

県北地区　高等学校　特別支援チーム研修会

日時　10 月 28日(水)14:15～16:20

場所　秋田県立秋田北鷹高等学校　大講堂

対象　中学校・高等学校教職員・関係機関

内容　実践発表 「UD の視点による授業づくり」

～中学校の先生方～
高校でのユニバーサルデザインの視点をもとにした授業づくりについて、聞いてみませんか？



発表者　秋田北鷹高等学校　教諭　成田　農（ゆたか）　先生

講演　「自分らしく生きることを支える発達障害のある生徒の理解と支援～当事者の視点から～」

講師　NPO 法人東京都自閉症協会　役員　綿貫　愛子　氏

令和８年度県北地区高等学校特別支援チーム研修会は、発達障害のある生徒への理解を深め、より効果的な支援方法を学ぶことを目的とした研修会です。本研修会では、秋田北鷹高等学校による実践発表と、NPO 法人東京都自閉症協会役員の綿貫愛子氏による講演を実施いたします。綿貫氏は、ご自身が当事者として経験された視点から、発達障害のある生徒が「自分らしく生きること」を支えるための理解と支援について、教育現場で生かせる具体的な知見をお話しいただきます。

特別支援教育に関わる情報提供や相談等、お気軽にお問い合わせください。

教頭：布田　美香子　　教頭：大塚　陽平

教育専門監：藤田　久美子　　地域支援部主任：根本　陽子

TEL　0186−55−2131　　FAX　86−55−2132

ホームページ　http://www.hinai-s.akita-pref.ed.jp